



小俣図書館 図書館行事 ごあんない



★赤ちゃんおはなし会

2月9日(木) 午前11時~ <2階・会議室>

(定員) 先着10組

(申込み) 2月2日(木) 午前9時から
直接または電話で小俣図書館へ

※保護者の方のみ、マスクの着用をお願いします。
※当日、発熱や咳などの症状がないか体調をご確認の上、
ご参加ください。



●たんぽぽおはなし会

2月11日(土・祝) 午後3時~

<1階・児童コーナー>

●ピッポの会・紙芝居

2月19日(日) 午前11時~ <1階・児童コーナー>

●図書館おはなし会&工作

2月25日(土) 午後3時~ <2階・視聴覚室>

おはなしの後、折り紙で「チューリップ」を作ります。
(対象) 3歳~小学生(就学前の子どもは保護者同伴)
(定員) 先着20人程度(当日視聴覚室で受け付け)

●上映会

2月18日(土) 午後3時~ <2階・視聴覚室>

「ロビン・フッドの戦い」

《洋画・日本語吹き替え・94分》

(定員) 先着20人程度(当日視聴覚室で受け付け)

●図書館のバリアフリーを知ろう!

~だれもが本を楽しめるように~

2月1日(水) ~27日(月) <1階・カウンター前>
バリアフリーを考えるきっかけになる本や、さわって読む
点字本、やさしく読めるように工夫されたLLブックなど、
読書のバリアフリーに関する本を展示します。また、点字
しおりのプレゼントもあります。(しおりは無くなり次第
終了します)



●わくわくストーリーテリングおはなし会

2月18日(土) 午前11時~ <2階・会議室>

想像をふくらませて、耳で楽しむおはなし会です。不思議
な絵を使ったおはなしや手遊び歌もあります。

(定員) 先着20人程度(当日会議室で受け付け)

★みんなで絵本を作ろう! 企画第14弾

『いちごちゃんとベリーくんのふしぎな
ふうせんたび♪』

2月23日(木・祝) ①午前10時30分~

②午後2時30分~

<2階・会議室>



小俣図書館に住むとしょかんようせいのいちごちゃんと
ベリーくんが、ふしぎなふうせんを見つけました。二人が
そのふうせんによって旅をする絵をみんなで描きます。描
いてもらった絵は、後日図書館で一冊の絵本にまとめ、小
俣図書館で所蔵します。

(対象) 小学生以下(保護者同伴可)

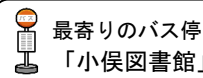
(定員) ①②ともに先着10人

(申込み) 2月1日(水) 午前9時から直接または電話
で小俣図書館へ

開館時間 午前9時~午後7時

休館日 毎週火曜日、第2金曜日

年末年始、特別整理期間



貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1か月以内(うち雑誌は25冊まで)

小俣図書館カレンダー



2月

3月



Calendar table with columns for days of the week and rows for dates from 1 to 31.

デイジー図書ご利用の案内

活字による読書が困難な方のために、小俣図書館ではデ
イジー図書とマルチメディアデイジー図書を所蔵して
います。プレクストーク(デイジー図書再生機)とデ
イジー図書は、館内でご利用いただけます。また貸出も行
っておりますので、詳しくは小俣図書館まで。

※「★」の行事は、申込みが必要です。
※行事詳細は小俣図書館のポスター・チラシをご覧ください。
※諸般の事情により、行事が延期または中止になる場合がござい
ます。ご了承ください。



図書館だより



「おはなし会」

えほんのよみきかせ、かみしばい など

《日時》 毎週 土曜日 午後2時30分～

《場所》 1階・おはなしコーナー

2月4日/おにいさん、おねえさん による おはなし会

2月11日・18日・25日

/おはなしプーさん による おはなし会



「あかちゃんえほんのじかん」

「あかちゃんえほんのじかん」は、毎月第4木曜日です。

《日時》 2月23日(木・祝) 午前11時～

《場所》 2階・視聴覚室

《内容》 あかちゃんむけの絵本の紹介や、手あそびなどをします♪



施設抽選会(4月～6月分)

《日時》 2月3日(金) 午前10時～

(開場は午前9時30分～)

《場所》 2階・視聴覚室

★ 上映会、おはなし会、あかちゃんえほんのじかん は、**申込不要**です。どうぞお気軽にご参加ください。

※ 諸般の事情により、行事が延期または中止になる場合がございます。ご了承ください。

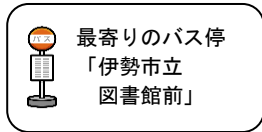
開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週水曜・第2金曜

・年末年始・特別整理期間

貸出 1人10冊 2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊 1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)



* 伊勢図書館・休館日カレンダー *

2月

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



「上映会」

《日時》 2月12日(日) 午後2時～

※開場: 午後1時45分から

《場所》 2階・視聴覚室

《定員》 40人(当日先着順)

「梅切らぬバカ」

(上映時間約77分)

占い師の珠子さんは、自閉症を抱えている息子と2人暮らし。

庭の大きな梅の木に見守られながら、母と息子は今日もゆっくり、丁寧に、毎日を生きていく。



出演 加賀まりこ、塚地武雅 ほか

マナーアップ特別企画



「汚損・破損本展」

～みんなで咲かせよう本の木に花を！～

《期間》 2月18日(土)～3月3日(金)

《場所》 1階・カウンター前

《内容》 汚損・破損本の展示及び本の木の掲示をします。

マナーアップシールを本の木に貼って

満開にしてください。

手作り本講座

「和綴じ本を作ろう」

《日時》 2月19日(日) 午後1時30分～

《場所》 2階・視聴覚室 《対象》 中学生以上

《内容》 本の構造を学びながら、和綴じ本を作ります。

《定員》 10人(先着順)

《申込》 2月4日(土)午前9時から

直接カウンター・電話・FAXで

伊勢図書館へ



本のごあんない

〔一般書〕 建造物

身近な三重の建造物や国内の特徴ある図書館建築、もう見ることのできない世界遺産など、見ごたえのある本はいかがですか？他にも、文豪が住んだ住宅について書かれたものや熊本城築城に生涯をかけた武士の話のように、少し違う視点からの本も紹介します。

人間の手によって造られた趣のある建造物や街並みをぜひこの機会に!!

◎もっこすの城 熊本築城始末（伊東潤／著 KADOKAWA）

◎日本の図書館建築 建築からプロジェクトへ（五十嵐太郎、李明喜／編 勉誠出版）

◎消滅遺産 もう見られない世界の偉大な建造物（ナショナルジオグラフィック／編
安倍雅史／監修 日経ナショナルジオグラフィック社）

◎三重の建築散歩 歴史を語る建造物とまちなみ 50 選（JIA 三重地域文化情報委員会／企画・編集 月兎舎）

◎文豪たちの住宅事情 住んだ家、住んだ土地から見えてくる文豪たちの人生と文学
（田村景子／編著 小堀洋平、田部知季、吉野泰平／著 笠間書院）



〔児童書〕 ^{ほん}本がすき！

今月は本や図書館が好きなあなたにぴったりの特集です。本を読むのが好きな子のおはなしや図書館で起きるフシギなことのおはなし、図書館のお仕事が知れちゃう本もあります！ 読めば本も図書館もますます好きになると間違いなし！

★図書館のふしぎな時間 未来への記憶（福本友美子／作 たしろちさと／画 玉川大学出版部）

★ほんをよめばなんでもできる

（ジュティ・シエラ／文 マーク・フラウン／絵 三辺律子／訳 セーラー出版）

★だれもしらない図書館のひみつ（北川千ハル／作 石井聖岳／絵 汐文社）

★貸出禁止の本をすくえ！（アラン・グラッツ／著 ないとうふみこ／訳 ほるぷ出版）

★図書館図鑑（小田光宏／監修 金の星社）



〔ヤングアダルト〕 表紙でポカポカ、温まってみる？

今月の特集は、「温かい色の表紙」！ 赤、黄色、オレンジなど、見ていると温かい気分になるような表紙の本を集めました。まずは目で見て温まって、読んでどんな気分になるかは……借りてからの楽しみ！

残りの冬もホットに過ごせる、とびっきりの読書タイムをお約束します☆

【一般書】

◎きみとホームで待ち合わせ（神戸遙真／著 講談社）

◎ごちそうグラタンとあつあつチーズレシピ（主婦の友社／編 主婦の友社）

◎かわいい禅画 白隠と仙厓（矢島新／著 東京美術）

◎未来への旅を続けよう（谷郁雄／著 PHP 研究所）



【児童書】

◎一〇五度（佐藤まどか／著 あすなろ書房）

※伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。
ご利用館にない場合は、予約ができます。

いせしゅんけい 伊勢春慶

伊勢の伝統産業の一つである「伊勢春慶」をご存じだろうか。

伊勢春慶とは、江戸時代から昭和30年代まで伊勢で盛んに作られた漆器である。

桜の木地に顔料の弁柄や柿渋などで下塗りを施し、その上から透明な春慶漆を塗り重ねることにより、塗りの下に木目が透けて見えるなど美しい木地を生かしていることが大きな特徴とされる。

重箱、膳、盆など、日用雑器として広く全国で使われていた。

『宇治山田市史』によると、室町時代に神宮の工匠が御造営の余材をもって内職として作り始め、そのため割りや曲げが少なく、板をつなぎ合わせた板物が主流であったと述べられている。江戸時代中期から明治初期までの伊勢漆器の主産地は岡本が中心であったが、明治10年代を境に出荷に船を使うことから物流の利便性もあり、次第に河崎地区へ移っていった。日清・日露戦争などの戦勝の好景気によって大正期に入ると需要が増したが、昭和期になり国家総動員法により祝い事が自粛され使用度が落ちていった。戦後、伊勢春慶の復活を図るも職人不足と材料の入手が困難になったこと、昭和30年代になるとプラスチック容器が登場したことで、長く続いた伝統産業は終止符を打つことになる。

しかし、製造されなくなって40年近くたった平成16年、地元の有志が「伊勢春慶の会」と称して保存会を立ち上げ、伊勢河崎商人館を中心に伝統技術の伝承と新しい活用方法を求め活動している。近年では京都工芸繊維大学の学生とのコラボレーションで生まれた「伊勢春慶テーブルウェア」を開発するなど、現代のライフスタイルに合わせたデザインで伊勢春慶の更なる発展を目指している。

- 宇治山田市史 上巻 (宇治山田市役所／編 国書刊行会)
- 伊勢市史 第8巻 民俗編 (伊勢市／編 伊勢市)
- みえづくし 三重県地域資源活用商品カタログ
(三重県・公益財団法人三重県産業支援センター／編集 三重県雇用経済部地域資源活用課)
- 伊勢モノ語り 神都・伊勢の伝統工芸品十選 ((財)伊勢伝統工芸品保存協会／著 伊勢伝統工芸保存協会)
- 伊勢の伝統工芸 ご遷宮に見る神宝と伝統工芸
(伊勢市伝統工芸振興シンポジウム開催実行委員会／著 伊勢市伝統工芸シンポジウム開催実行委員会)



今月は小俣図書館のスタッフ2人が本を紹介します。



「おじいちゃんとパン」

(たな／え・ぶん パイインターナショナル)

おじいちゃんとちびすけの日々を描いた絵本。

とにかく、おじいちゃんこだわりのおいしそうなパンが、次から次へと出てきます。そして、ちびすけが書いた文とおじいちゃんのお言葉がおもしろく、クスツと笑えて、心がほっこりあたまります。

少し疲れたときに、ぜひ読んでみてください！

Q.「僕」は、子供の頃からどんなパンが好きだったでしょう？

答えは、本を読んでみてください！

「両刃の斧」

(大門剛明／著 中央公論新社)

迷宮入りとなった15年前の事件が今動き出す。やっと捜しあてた犯人らしき男が、逮捕直前に殺されてしまった。この事件で娘を殺された元刑事が復讐のために殺したのか… この元刑事が黙秘をつらぬく理由とは？

彼を信じた後輩刑事の気持ちと、被害者遺族にしかわからない深い悲しみ、二転三転する謎と心に揺さぶられます！

これは解いてはいけない迷宮なのか…

Q 後輩刑事の娘の職業は？